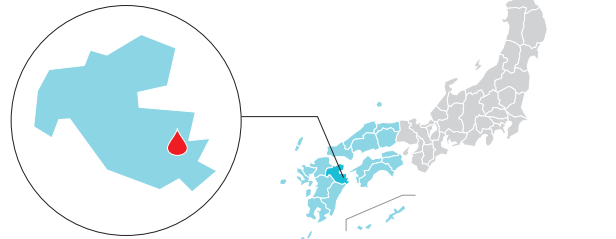


大自然を体験できるTOTOroの森を作りたい！

# TOTOroの森から ～300年先の子どものために～

団体名 **佐伯広域森林組合**

主な活動地域 **大分県佐伯市**



## 目的

佐伯市宇目にある「ととろ」という集落に、子どもと大人が一緒になって大自然を体験できるTOTOroの森を作る。ここは番匠川の源流であるが、その環境が流域、さらに海の環境を左右する。自然を守るには、上流と下流、山と海、産業で言えば、林業と漁業の交流と協力が欠かせない。TOTOroの森をそうした地域交流の場としても活用し、100年先、300年先の子ども達のために森と水の豊かな自然を保全し、その文化とともに渡したい。



ボランティアに参加しよう！

- ★間伐材木工教室 2008年10月
- ★しいたけ・山菜採り 2009年 4月
- ★葦草刈り 2009年 5月
- ★星空鑑賞 2009年 7月
- ★親子野外教室 2009年 8月



山が荒れると、川も土石流や葦の群生などで埋もれていく

## 実施内容

森と水は生活の安定に不可欠な「緑の社会資本」と言われるが、その理解を深める場としてTOTOroの森を15年かけて作る計画である。初年度の本年は番匠川上流の清掃、葦刈りを行う。この川の流域は大分県南地域の生活、文化に深く結びついているが、近年、葦原がはびこり、湾岸にまで及んでいる。河畔林などに葦原が巻き付き、台風などでは二次災害も起こしかねない状態になっている。その葦草を今回は刈る。その後、杉皮を焼いた炭を上流、中流の石の下などに入れ込み、水をろ過し、ゆくゆくは蛍が飛ぶ川にしたい。また、番匠川の話の聞く会や、漁師と山師の交流会などを開く予定である。



文字通り「ととろ」のバス停

## 選考委員のひとこと

「こんな場所にととろの森を作るといいな！」と感じました。見学途中、川の中からナマズ出現！ ナマズがいるところは鰻もいるとか。ナマズも美味しいらしいです。

TOTO 総務部 Sさん記



取材は川の流れが結ぶ山から海までと広範囲に及んだ